



・ ・ ・ 例 会 記 録 ・ ・ ・

3 月第 3 週例会 2023 年 3 月 16 日 (木)

ソ ン グ : それでこそロータリー ボックス : 18,000 円 (報告者 新沼達央会員)

本日出席率 : 52.78% 前回修正後 100% (メンバー 13 名) (報告者 紀室綾子会員)

★ 会長の時間 : 古内一二



3 月 11 日の東日本大震災の慰霊に多くの会員の皆様に、集まっていたき有難うございました。当日は北九州から来られたお坊さんのお経もあり、時間的には多少長くなりましたが、西ロータリーとして「鎮魂愛の鐘」の下で黙とうを出来たことは、大変意義のあることと思っております。

革めてあれから 12 年、東日本大震災を考えますと、ここにいる皆さんもそれぞれに大変な体験をされたことと思います。私も、「未曾有」と言う言葉をこの震災で知り、多くの方々から、いろんな場所で、いろんな話を聞きました。

ご家族を亡くした方、ご親戚を亡くした方、お店や会社、家を無くした方、そして自身が九死に一生をえた方、今までの日常では考えられない、自分たちの人生を大きく左右した出来事であったことは間違いありません。しかしそんな中、また多くの皆様からの温かいご支援、人と人とのつながりを感じとれたことも数多くあったのではないのでしょうか。私自身この震災で、人と人の繋がり、商売の基本というものを改めて感じました。今日はこの話をして、会長の時間とします。

3 月 11 日、私は太田団地の海からで 100m ぐらいの距離にある、お宅で仕事をしていました。地震後はそのお宅のおばあちゃんを連れて店に戻り、店で 3 日ばあちゃんと暮らしました。そうしているうちに、電力さん市役所が電池を買いに来ました。また家をよく知っているお客さんは、裏口から電灯を買いに来るんです。それで、これは店を閉めていてはだめだと思い一人で店を開けました。「幸い自分の店は残った、自分は何が出来るか、自分のできることは何でしょう」と思いました。そして 3 日後当たりに電気が来ましたので、店の明かりを全部点け、店をかたづけ、店内をすべて開放しました。普段通りの日常を演出しようと思い、お茶やお菓子をだし、テレビをつけ、携帯の充電や、カミソリの貸し出しもしました。赤ちゃんのミルクのお湯をもらいに末崎から来た方もいました。そんな日々が続いたある日、母の友達が「孫の洗濯」をしたいと洗濯機を借りに来たんです。それでこれをヒントに、店の前に一台の二層式洗濯機おいて「使ってください」と書いた紙を貼り貸しだしをしました。毎日毎日列をなすほどの人でした。それで全国の我々の仲間にすぐお願いしました。「中古でいいから二層式洗濯機ないですか」とすると、トラック 2 台ですぐに駆けつけてくれました。二層式洗濯機はもとより、ブルーシート、電灯、食糧、多くの支援をしていただきました。我々はすぐに近所のお店にお願いして玄関先に 6 台の洗濯機を設置させてもらいました。そして 1 ヶ月が過ぎた頃、最後に利用した方は赤崎の後の入りの方でした。お菓子を持って、お礼に来てくれました。そして帰りしな「大変お世話になりました」と言って二層式洗濯機に手を合わせ深々と頭を下げて行きました。松下幸之助さんの言葉に「企業は社会の公器である」と言う言葉が有ります。私はこの時改めてこの言葉の意味を考えさせられました、この店は誰のためにあるのか、何のためにあるのか、私はこのことを忘れないために、この写真と、このカレンダーを震災以来ずっと部屋に飾ってあります。

起きた震災は仕方ありませんが、この体験は無駄にはしたくないものです。

◆◆◆ 幹事報告 ◆◆◆

1 ロータリー米山奨学会より

- ・第8回米山功労クラブへとしての感謝状が届いています。

(2月28日現在 当クラブ特別寄付金累計額 8,004,000円)

- ・奨学会ニュース、ハイライト米山276が届いています。

=トピックス=

3月4日第2580地区の米山奨学生期間終了式が行われ、カウンセラーなど108人が出席

2 大曲ロータリークラブ佐々木正光様より

出前餅つきへの協力のお礼と、「交流クラブ・姉妹クラブ」提携提案のメールが届いています。

3 陸前高田ロータリークラブより

「第73回全国植樹祭いわて2023」に先立って行われる、記念植樹へ参加協力のお願いが届いています。「高田松原を守る会」と協賛

日 時 4月8日(土) 10時～ 雨天時は9日

場 所 高田松原津波復興記念公園内

内 容 はまなす株を60株植栽予定 各クラブより3名の参加をお願い

参加費 1人3,000円 植栽後 キャピタルホテル1000にて昼食・懇親

締め切 4/4

4 山田ロータリークラブより

山田町内の小中学性の作品を集めた「やまだの作文」第51集が届いています。

◆◆◆ 本日のプログラム ◆◆◆

フリーアワー：藤丸数子会員卓話



こんにちは。藤丸数子です。

この後お聞きいただく都合で、この席からお話しさせていただきたいと思います。卓話ということで月曜日にお話をいただいたのですが、準備期間が少ない中で皆様の前でお話するのは心許ないのですが、本日はどうぞよろしくお願いいたします。今日は私の仕事について少しお話ししたいと思います。

私は土地家屋調査士という資格を持っておりまして、主にその資格を生かした仕事をしております。

また、妹が行政書士をしておりまして、行政書士業務も承っております。合わせて測量会社のほうにも所属しております。土地家屋調査士・行政書士・測量士を兼任している先輩の会社で、大きい仕事では風力発電に関わる測量業務、開発許可等の申請や相続人の調査等の行政書士業務、用地の分筆登記等の土地家屋調査士業務を行っております。

土地家屋調査士として実際どんな仕事をしているかといいますと、土地や建物の登記、建物を建てる際の敷地の測量や、公益社団法人の社員として官公署からの依頼で取得用地の測量等を行っております。行政書士業務は私の業務に付随するものでは農地転用や相続が発生している場合の相続書類の作成、建物を建てる際に必要な許可申請等があります。

他にもございますので、何かの際にはお声がけいただければと思います。

さて、私が所属しております岩手県土地家屋調査士会の役員理事の中で構成される部会がありまして、私は広報部に所属しております。部長も合わせて4名おりまして、広報活動の一環として昨年からはIBCラジオのワイドステーションという番組で毎月第2火曜日の午後2時40分頃から境界トラブル解決ラジオというコーナーに出演しております。

IBC 岩手放送のワイドステーションとインターネットで検索していただきまして、トップ画面の右下の境界トラブル解決ラジオ！をクリックしていただくと過去の放送分が配信されております。今日はその中で私が出演した回と別の広報部員が出演した回の2回分を聞いていただきたいと思います。建物の登記についてと相続した土地の場所がわからないという題のお話しです。

本日の私の卓話は以上となります。      ご清聴ありがとうございました。